

令和2年10月30日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 佐藤 肇
経営サポートセンター
チーフリサーチアドバイザー 本地 央明
担当 深澤・橘・内記 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

病院経営動向調査・社会福祉法人経営動向調査（2020年9月調査） および新型コロナウイルス感染症の影響等に関する特別調査の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、標記に関する調査結果およびリサーチレポートを取りまとめました。なお、同レポートの内容及び詳細は、機構ホームページに掲載しています。

〈リサーチレポート〉 <https://www.wam.go.jp/hp/keiei-report-r2/>

1. 病院経営動向調査および社会福祉法人経営動向調査の概要

- 病院経営動向調査（WAM短観）（<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>）
- 社会福祉法人経営動向調査（WAM短観）（<https://www.wam.go.jp/hp/sh-survey/>）

2. レポートの概要

- 福祉医療機構が実施した新型コロナウイルス感染症の影響等に関する特別調査（2020年6月から9月まで計4回実施）の結果、5月診療分がもっとも厳しく、前年同月比で医業収益が減収した病院の割合は、一般病院は約8割、療養型病院は約6割、精神科病院は約4割であった。なお、6月以降は減収が2割以上と回答した病院の割合は減少してきており、収益がやや回復している傾向にある。
- 特別養護老人ホームは、前年同月比でサービス活動収益が減収した施設の割合は4月がもっとも大きく約4割の施設が減収となっていたが、5月以降は回復傾向にある。
- いずれの施設も感染症対策と患者・利用者確保への取組みなどによって、収益の回復と資金繰りの安定化に注力している状況がうかがえたが、7月時点においても前年同月比で減収となっている施設は一定程度あり、厳しい経営環境にあるといえる。

なお、今般の新型コロナウイルス感染症により影響を受けた福祉・医療施設をご支援するため、独立行政法人福祉医療機構では新型コロナウイルス対応支援資金による融資を行っています。

〈詳細はこちら〉https://www.wam.go.jp/hp/fukui_shingatacorona/

お問い合わせ先(融資のご相談・既往貸付の返済のご相談)
福祉貸付専用ご相談フリーダイヤル :0120-343-862
医療貸付専用ご相談フリーダイヤル :0120-343-863
※携帯電話等でつながらない場合 :03-3438-0403